



栃木県立足利南高等学校

平成 23 年度 総合学科通信 第 3 号

No.32
(2012/3/23発行)

校長より

総合学科発表会によせて

校長 島田 豊

1月28日、本校教育の大きな行事である総合学科発表会が行われました。午前中は学年ごとに、1年生はライフプラン、2年生は修学旅行先の沖縄に関するミニ課題研究、3年生は系列ごとの課題研究の発表が行われました。それぞれの発表は簡潔明瞭でわかりやすい内容であり、発表者の堂々としたプレゼンテーションは本校での学びと成長を示すものでした。午後は体育館で器楽、声楽とダンスの発表、メディアホールでは社会人受講生も参加した演劇など、講座発表がありました。また体育館には3年生の研究ポスターや作品が展示され、一人一人が真剣に取り組んできた様子が窺えました。

総合学科の特色は、多くの選択科目の中から各自の進路にあわせて作成した自分だけの時間割で学ぶことのできる、バラエティーに富む教育課程にあります。3年次の課題研究は総合学科教育の集大成であり、「自ら問題や課題を見つけ、その具体的な解決方法を考え工夫し実践する力」を育成するものです。この訓練は将来自分の力を頼りに社会の中で生きる皆さんの大きな支えになるものと考えます。

高校時代は進路実現の基礎づくりをする時期です。総合学科としての足利南高校の「よさ」を十分に活用し進路の実現を目指してください。皆さんの成長を期待しています。

総合学科発表会

総合学科推進部長 大高 直樹

平成24年1月28日の土曜日に、平成23年度総合学科発表会が開催されました。

1年生のライフプラン発表2名、2年生のミニ課題研究発表2班、3年生の課題研究発表は、異文化コミュニケーションなど5系列16名の代表が発表を行いました。

今年は残念ながら、被服製作希望者が少なかったために、例年最後を飾るファッションショーが見られなかったのですが、新しい試みとして、2年生は個人研究をグループ研究にし、発表もグループで行うこととしました。また、課題研究発表には、系列毎に代表者が系列の紹介をする時間をとり、来場いただいた中学生や保護者の方々にも系列の特徴を理解してもらえたことと思います。

午後の講座発表会では、美術・書道・家庭科の展示に、音楽・演劇に加えて今年はダンスの発表があり、特に、普通の授業から一般の聴講希望者と学んでいる演劇に出演した生徒たちは、歳の離れた一般参加者とともに、いつもは見られないいきいきとした表情で好演し、感動を与えていました。来年度も今年度以上に素晴らしい発表会にしたいと思っていますので、多くの方々のご来場をお待ちしております。



1学年主任より

「一年を経て」 1学年主任 松嶋 典子

12期生が入学して、1年が経ちます。震災の影響も心配されましたが、無事に終わろうとしています。

真新しい制服に身を包み、緊張していた4月からするとしっかりした顔つきになってきたように思え、保護者・諸先生方の指導のおかげと感謝しております。

総合学科の原則科目に「産業社会と人間」があります。この授業を通して、生徒自身が自分の進路を考えていきます。文章を書いたり発表をする機会が多かったのですが、最後のミニ課題研究発表会ではそれぞれの生徒が堂々と一生懸命発表し、聞く側の生徒も熱心に耳を傾け、メモを取っていました。その姿を見て、生徒たちは私たちが思っているより多くのことを吸収し、日々大人になっているのだと感じました。

間もなく次年度が始まります。クラス替えがあったり、中堅学年として学校行事に関わっていくことでしょう。生徒たちの更なる成長に期待したいと思います。



2学年主任より

「総合学習Ⅰを振り返って」 2学年主任 松野 哲也

本校では2年次に総合学科Ⅰを毎週月曜日に1時間行っています。その主な学習内容は①ミニ課題研究、②修学旅行事前学習、③進路についての学習、④3年次の時間割の見直し、⑤3年次課題研究テーマの設定等です。

- ① ミニ課題研究…修学旅行に関する沖縄本島や宮古島の伝統・文化・歴史、さらに東日本大震災に関して、興味関心のある事柄に関してテーマを設定し、新聞、書籍やインターネットなどで調査しまとめ、グループで研究内容を発表しました。これを通して、3年次で行われる課題研究の予行演習ができました。
- ② 修学旅行事前学習…沖縄県宮古島への修学旅行の事前学習として、ミニ課題研究のテーマとして取り上げ実施しました。また、沖縄の歴史を学んだり、映像等で沖縄戦について学習しました。
- ③ 進路についての学習…進路ガイダンス、進路講話、スクールインターンシップⅡなどの行事を通して、進路について考えを深めることができました。
- ④ 3年次の時間割の見直し…もう一度自分の希望する進路を考え、1年次に決めた3年次の選択科目について見直しを図りました。
- ⑤ 3年次の課題研究テーマの設定…系列の先生方のアドバイスを受けながら3年次の課題研究のテーマを設定しました。

以上、総合学習Ⅰを踏まえ来年度の課題研究をよりよいものにしていければと思っています。さらに、進路実現に向け、充実した研究活動ができればと思います。

3年間の思い出 ～担任団より～

1組（主任） 堀越 安則

去る3月1日、総合学科第10期生の卒業式が行われました。
入学して以来、いくつかの悩みや進路への不安を抱えながら仲間達とともに過ごした3年間。彼ら彼女たちとのたくさんの思い出と知らず知らずの内に成長してきたひとり一人の晴れやかな姿がそこにありました。

自分たちで選曲し、心を込めて歌いあげた卒業生による合唱曲「振り向けば…/JanneDaArc」を聴きはじめてまもなく、子どもたちと過ごした三年間の歳月のひとつ一つが脳裏をかすめ、みんな立派になったなあ。ああこれでもうこいつらとも毎日会えないのかあ～ などと思うと涙が止まりませんでした。

そして、彼らの3年間の成長とともに自分自身もまた成長してきたんだなあーとの思いが巡りました。

卒業生諸君！これからは後戻りできません。社会の荒波に揉まれながら、またひとつ一つ成長して行ってください。そして、二年後の成人式の年には元気な姿で再会出来ることを楽しみにしています。元気で！

3 学年担任団



2組 浅間 和子

平成24年3月1日、総合学科10期生の卒業式が、無事、挙行されました。思えば3年前の春、皆さんは足利南高校での高校生活をスタートさせました。当時は、まだ幼さを残したまま高校生になり、今までの生活や意識とのギャップに、戸惑うことも多かったかと思います。南高での一つ一つに「何故？」を感じながら生活をし、その「何故？」を一つずつ解決しながら一歩ずつ歩く姿を近くで見ながら、皆さんの成長を感じてきました。

1年次の産業社会と人間の時間では、自分自身ををよく見つめ、今後の人生を考え、2年次、3年次の総合学習を通して、実現のための努力もしてきました。

2度の耐震工事や震災の影響を受け、我慢や残念な思いを多くした3年間でしたが、そんな中でも、どうしたらよりよく過ごせるか工夫をする、ということを経験することができた3年間でもあったと思います。

ここで経験したことは、社会に出てから、必ず皆さんの力となって皆さんを助けてくれることとでしょう。この南高から飛び立っていった皆さんが、新しい社会でも活躍してくれることを期待しています。

二十二年後、笑顔で再会しましょう。

3組 安塚 正史

私は、平成21年4月、第34期生（総合学科10期生）の入学と共に栃木特別支援学校より足南高に赴任しました。すぐに担任を任されたため、「総合学科とは何たる物なのか？」何も解らないまま、慌ただしい日々を必死に過ごしていたように思います。

今考えると新入生だった皆さんにとっては非常に迷惑な話で、頼りない先生に見えたことでしょう。しかし、担任をすることで、個々の進路にあわせた時間割の作成や課題研究の授業など、総合学科としての足南高を徐々に理

解していくことができました。

特に課題研究では、テーマ設定、研究・発表とそれぞれが苦労して研究を進め、その成果を1人1人が系列毎に発表することができました。また、各系列の代表者に至っては、総合学習発表会で発表をするため苦労したことでしょう。皆さんが苦労してきた分、発表会では研究の展示や発表等すばらしいものとなりました。

そして、皆さんもそれらの作業を通してさまざまな知識や技術を身につけたことでしょう。また、やり遂げた事への充実感や達成感もひとしおだったことでしょう。

卒業式に皆さんからもらった手紙の中に、こんな言葉がありました

「俺たち、少しは成長できたかな？ できたよね！！ 俺たちだってやればできるもんね。」

立派とまでは言えないけれど、それぞれがすばらしい成長を見せたと確信しています。

「やればできる！！」自信を持ってこれからの人生を生きていって下さい

総合学科10期生の人生に幸多かれ！！

4組 常見 明子

3月1日の卒業式では、温かく、そして厳粛な雰囲気の中、卒業生を送り出せたことを感謝申し上げます。答辞や卒業生による合唱を聴きながら、足利南高校の良さを再認識しました。

総合学科に入学した当初、人前で意見を発表するのが苦手な生徒も多かったと思います。しかし、「産業社会と人間」の授業でのライフプラン発表、「総合学習Ⅰ」でのミニ課題研究発表、「総合学習Ⅱ」での系列内発表会など経験を重ねるうちに徐々に自信を持って発表できるようになってきました。

特に課題研究を通して、課題の発見、情報収集、検証、まとめ、発表というプロセスを体験したことは今後の人生できっと役立つことでしょう。10期生の活躍を期待しています。

5組 馬籠 正久

総合学科発表会には、総合学習委員・系列代表・発表代表者などで運営・発表に関わりました。

勿論、クラスの全ての生徒が課題研究の研究成果の展示発表をしており、また美術・書道・家庭科における授業内容の展示や、音楽Ⅱ選択者によるミュージックベル演奏・声楽Ⅱ選択者による合唱・器楽Ⅱ選択者によるヴァイオリン合奏のステージ発表に参加しました。

課題研究では、悩みながら自分自身で研究テーマを設定し、また自分で作成した時間割に即して、講座発表会でも立派な発表をしてくれました。「学び方を学ぶ」総合学科の3年間を過ごして、何度も行ったプレゼンテーションなどを含めてそれぞれの場で活用出来るスキルを十分身につけて卒業していきました。

これからは、好きな自分にたくさん出会いながらさらに自分らしさに磨きをかけて、自分の個性をさらに育んで欲しいと思います。皆さんの今後の大活躍を期待しています。



発行：栃木県立足利南高等学校

教務部広報係

TEL：0284-72-3119（事務室）

FAX：0284-73-2772

TEL：0284-72-3118（職員室）